

平成23年度

膳所高等学校 学校評価

本年度の重点目標

- ・学習活動、自主活動、部活動をすべて等しく大切にした教育活動を進める。
- ・入学したときの進路希望を実現するために、教育活動の改善、充実に努める。
- ・生徒の主体的な活動を支援し、人格形成、人間形成を図る。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	学校の教育方針や教育目標、教育活動について理解が得られるようわかりやすく説明している。	A		
	学校の教育方針や教育目標が実現できるよう具体的な取り組みを進めている。	A		
2 学習指導	各教科、各学年で到達目標を設定し、その達成に向けて学習指導の工夫、改善を行っている。	A		
	授業アンケートなどを実施し、教科指導力ならびに授業力の向上に努めている。	A		
3 生徒指導	相手を思いやる態度を育て、相互の信頼を深めることで良好な人間関係を築くよう指導している。	A		
	挨拶をすることや時間を守る指導などを通して、基本的な生活習慣の確立に努めている。	A		
4 進路指導	進路指導が計画的に行われており、チャレンジ精神など進路に対する意欲を高めている。	A		
	生徒の進路選択に役立つように適切な情報の提供や資料作成に努めている。	A		
5 特別活動等	湖風祭や班活動などの自主活動を通して、生徒の主体性を育てている。	A		
	文武両道を進めるため、時間の使い方や活動内容について配慮している。	A		
6 学校図書館	図書に関するわかりやすくていねいな情報を提供し、生徒の図書館利用を促進するよう努めている。	A		
	生徒アンケート等を通して、生徒のニーズに基づいた図書館の積極的活用を進めている。	A		
7 保健・安全指導	健康・安全に対する意識を高めるよう、機会をとらえて情報を提供している。	A		
	生徒の事故、けが、病気等が発生したとき、病院や保護者と連絡、調整するなど適切に対処している。	A		
8 人権教育	一人ひとりがお互いに尊重し、信頼されるクラスや学校づくりに努めている。	A		
	人権統一LHRの取り組みやクラス人権委員の活動を通して、生徒の人権意識を高める指導に努めている。	A		
9 環境教育	日常の掃除や大掃除・地域清掃活動などを通して、生徒の美化意識を高めるよう努めている。	A		
	ゴミの減量や分別回収の徹底を図ることで、環境保全・よりよい環境作りへの意識を高める。	A		
10 事務・管理	教育環境を良好に保つため、施設、設備の整備、充実、改善に努めている。	A		
11 その他 学校の取り組み	SSHや高大連携事業で学問への意欲・関心を喚起し、主体的な進路選択の意識を高めている。	A		
	土曜日企画により自学自習を支援し、主体的な学習活動の確立に努めている。	A		
	ホームページ等を活用し、教育活動や生徒の学校生活についての情報発信に努めている。	A		

- (注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた評価項目の公表
 10月 中間評価の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。
 3月 総合評価の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。
 ・評価者は、教職員、生徒、保護者、学校評議員等による。(項目により、4者によらない場合もある)
 ・A B C Dの基準はアンケート等の評価を集約した結果、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。

学校のURL : <http://www.zeze-h.shiga-ec.ed.jp>